

長崎県警察本部長 殿

添付刊行物

1998年12月17日

平 11. 8. 12 日

国立婦人教育館  
婦人教育情報センター

ばってん・うーまんの会

## 「痴漢に注意」の看板についての申し入れ書

私たち「ばってん・うーまんの会」は、加害者であり犯罪者である痴漢にたいして犯罪防止を呼びかける事なく、被害者である女性にたいして注意を喚起する長崎県警察本部の広告板はおかしい、加害者側に自覚を呼びかける広告に変更してほしいと、再三申し入れをしてきました。しかし、それ以後も全く同じ趣旨の広告板が、新しく市内所々にたてられております。「痴漢に注意」という言葉は「注意したのに、ここを歩く被害者、すなわち性的暴力にあった女性に責任があるのだ」という印象を見た人にあたえます。私たち女性は今まで、被害に逢ったのは私が不注意だったからだ、あたかも自分が悪かったかのように、思い込まされてきました。私たちは、このような広告板を即刻撤去してほしいのです。

福岡県警察のポスターは「痴漢は犯罪です」ときっぱり書いています。東京都のJR各駅の掲示板も「痴漢は犯罪です」と痴漢自身に呼びかけています。

このように、まず痴漢が犯罪であることを知らせる、痴漢行為をしようとしている者をいましめる看板に改めて下さい。

また設置場所にも問題があります。例えば、諏訪神社の前の地下道の奥深い場所に設置してありますが、これは地下道の入口に、痴漢行為者に注意を喚起する事を第一として設置すべきです。

以上、長崎県警察本部のすばやい対応を強く要望します。

事務局

津田尚美



## 県警生活安全対策課へ 申し入れ !!

昨年10月号の紙面で「痴漢に注意」の立看板の文言は おかしい ということを書きました。痴漢に対しては、いくら女性が注意しても防げるものではありません。うーれ会報を読んだ県内の女性議員たちも地区の見直しを約束してくれました。中には自分が受けた被害のくやみを夫に訴えたり、かえって叱られたと2重、3重の悔いを忘れていない人もいました。そういった女性側の怒りとくやみを持って去る12月17日、なぜ文言がおかしいのかを伝え、先進県の取組みも知ってもらうために県警へ行きました。むこうは、生活安全対策課々長補佐の福島さんら4人が対応しました。色々話し合い、おたが 要約すると次の通りです。

### ① 看板の文言について—

ばってん・うーれん会・被害にあう女性への注意は無意味なことだ。性暴力をふるう男性側に対して きびく呼びかける文言にかえるべきだ。今の看板は、被害者側の責任となり、加害者は問われない。そういう心理を醸成しているということだ。

県警

・考え方の相違だ。あなた達がそう考えるだけだ。あの文言で 被疑者(!)が通る時 注意をすると思う。  
・交通事故と同じで、多発場所において注意を促し、事故を未然に防止しようということだ。

ばってん・うーれん会・では 東京や福岡では なぜ「痴漢は犯罪です」と、痴漢に向けていう文言に変えたのか。原因は痴漢側にあり、女性側の注意では解決しないことに気づいたのではないか。

県警

・東京、東京というが東京全部にあるかどうか言同べたのか。福岡はどうか。全部調べて そう 言ってるのか。



地下道に設置されている看板 「痴漢に注意」を呼び掛

12月18日付

長崎新聞より

### 「痴漢に注意」の文言変えて

## 女性に責任の印象

ばってん・うーれん会の

「痴漢に注意」の文言が不適切として、十七日、県警本部に表現を変更するよう申し入れた。「『あれほど注意しろと言ったのに』など、痴漢の被害に遭った女性に責任を押しつけてかねない文言」というのがその理由。県警側は趣旨を理解しながらも、看板掛け替えの費用対効果を強調、話し合いは擦れ違いに終わった。

### 県警 効果に疑問と擦れ違い

同会は「現在の立て看板は、性的暴力に遭った女性に責任があるという印象を与えかねない。『痴漢は犯罪だ』と、加害者に痴漢行為をやめよう直接訴えるべき」と主張。県警側は「趣旨は十分理解するが、掛け替えの費用に比べて効果がどれほど上がるか分からない。われわれとしては女性に注意を呼び掛けた方が効果があると考えている」としている。

朝日新聞社会部記者

精神科医

三可原理子さんと 小西 聖子さんの対談(1/27付 社会新報)によると

### 《そこにある危機——勦から身を守る》

1. 男性と女性の性暴力に対する認識が違ふ。一般の人権侵害などで問題を共有できる人でも、こと性暴力になると その違いに がく然とする。(ヤッパリ)
2. 女性だけの性犯罪調査チームをついた 神奈川県警や「痴漢はアカ」のポスターで呼びかけをしている 大阪府鉄道警察隊には、性暴力被害の届けが増えている。等々が語られていた。

要は どれだけ被害者側に立って、看板1つで違ふと思う!



<ことは1つでも敏感でありたい>

こども110番は 現実に 誰を救うのか ..... 女児の性被害が

新聞にのらない日はないのに、テレビコマーシャルでは「みんなボクの味方やけんね」とは あんまりではないか! 男社会もここまで我がもの顔だったら もう くずすしかないね。「みんな あんたたちの味方やけんね」と なぜ 思いつかないのかね、と いうことも10月号に書いたら

前略

はっこん ウーマン ありがとうございます

私も子ども110番のコマーシャルは  
おかしいと思っていたのでヨ

女の子が ませいに なってるのに ...

でも 女の子も 男の子も どっちも  
大切なんですよ と 思っ

ています

小さな事に ? を 感じてるって

大切ですよ

いつも ずっと 頂いて 本当にあり

かいと ございます

では又

岩本 康子

こんな声か

事務局のファックスに入りました。ありがとうございます

この  
まじか  
うれしい  
デス

を求めず

今度 長崎市議会は、「男女共同参画都市宣言」案を採択しました。

長崎市の女性グループが連帯し、女性市議の方たちに紹介議員  
になってもらい、強かにすすめてもらった結果でした。ひとまず ホッ!!!